

町田市に「ふるさと納税」しませんか？

～ まちだ未来づくり寄附のご案内～

ふるさと納税って何？

ふるさと納税とは、「納税」という名前を使用していますが、地方自治体への寄附のことをいいます。「生まれも育ちも町田」という町田市民が町田市へ寄附することもできるのはもちろんですが、「生まれが町田ではない」という市民の方であっても、町田市を応援する気持ちがあればどなたでも寄附をすることができます。

町田市はふるさと納税をどのように使っているの？

町田市では、ふるさと納税をする際に下記の①から⑦の使い道を指定することができます。これらの使い道を指定して頂戴したふるさと納税は、下記のような事業に活用していきますので、ぜひ、町田市へのふるさと納税をお願いします！



① 子ども・子育て・教育分野

【2017年度の使い道】

2017年度に指定するICT推進モデル校における魅力ある授業の研究に必要なタブレット端末やプロジェクタ等の購入に活用します。



② 高齢者・障がい者・健康福祉・医療・防犯・防災分野

【2017年度の使い道】

市内介護事業所の人材不足に対応するための介護人材の確保、育成及び就労継続などの事業に対する支援に活用します。



③ 産業・観光・文化・スポーツ振興分野

【2017年度の使い道】

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした、スポーツ・文化・経済・観光等の振興とまちの魅力向上及び地域の活性化に寄与する事業に活用します。



④ 交通・住環境・環境などの分野

【2017年度の使い道】

コミュニティバスの新規路線運行に向けた、道路の走行環境整備にかかる費用に活用します。



⑤ トップアスリートと子どもたちがスポーツでつなぐ！

ホームタウンチームの選手・スタッフが、保育園や小学校でスポーツ教室を行う事業に活用します。



⑥ 町田市国際版画美術館に「歌麿」を呼ぼう！

町田市国際版画美術館に、来館者からの要望が多い喜多川歌麿の作品を購入するために活用します。



⑦ トップスポーツを楽しめる環境を町田に！【大型映像装置整備】

市立陸上競技場で開催される大規模スポーツイベントにおいて、より迫力あるプレーを楽しむための新たな大型映像装置整備に活用します。

町田市のふるさと納税（寄附金）による成果

皆さまから頂いたふるさと納税（寄附金）は、図書館資料の貸出・閲覧サービスの充実をはかるための図書購入費や、夜間でも安全に道路を通行するための街路灯整備費などに活用させていただきました。

また、町田市へのふるさと納税額（個人からの寄附金）は、2014年度の約700万円から、2016年度には約4,300万円と約6倍増加しています。

今後も皆さまから頂いたふるさと納税（寄附金）を、より良いまちづくりのために活用してまいります。



町田市のふるさと納税の現状

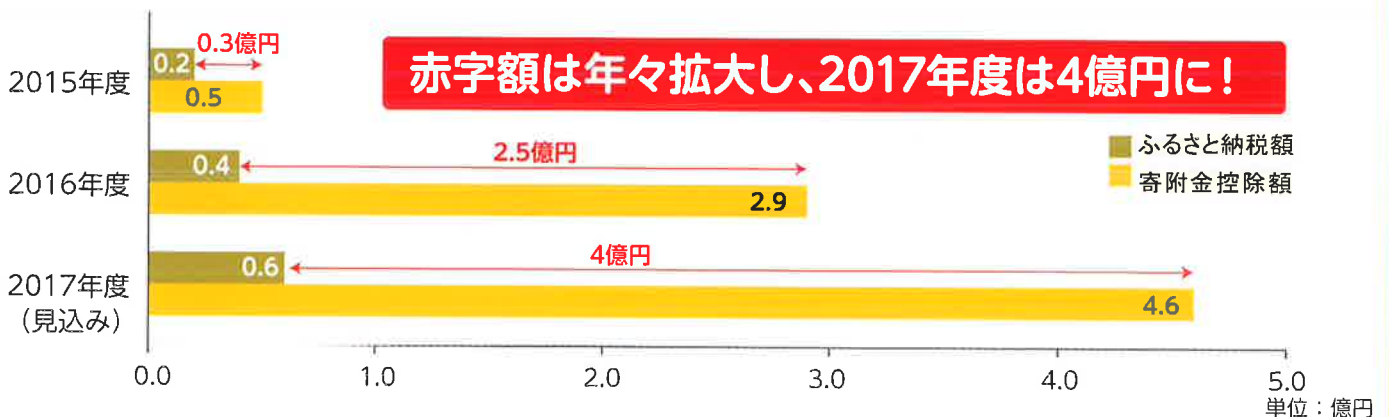
町田市では、上記のようにふるさと納税を活用する取り組みを進めてきましたが、町田市へのふるさと納税額よりも、町田市民が寄附金控除をする金額（市税の減収額）の方が多くなっています。

その差は年々拡大しており、2016年度のふるさと納税額と寄附金控除額の差は2.5億円、2017年度については、その差は**4億円**にまで拡大することが見込まれています。

町田市にとっての**4億円**は、個人市民税の1.3%、待機児童を解消するための保育施設整備（約420人分）に必要な町田市の負担額※に相当します。このまま町田市へのふるさと納税額と寄附金控除額の差額が拡大していくと、**市民サービスに使うことのできるお金が減少し、市民サービスに影響する可能性があることから、町田市以外の地方自治体へふるさと納税を検討されている方も、ぜひ町田市へのふるさと納税をお願いします。**

※町田市の負担額：市税と借金（市債）で負担する金額の合計

ふるさと納税額と寄附金控除額の推移



町田市へふるさと納税するには？

使い道色々「町田市ふるさと納税」
～町田市民から町田市への寄附もOK!～

- お申込みはインターネットでのお申込みが好評です。
ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」からお申込みください。
[町田市 ふるさと納税 検索](#) (右下のQRコードからもアクセスできます。)
- 書面でのお申込みは、寄附申出書に必要事項を記入し、下記問い合わせ先にご提出ください。
寄附申出書は、市庁舎、各市民センターに設置している他、町田市ホームページからもダウンロードできます。

